

## 来館者を対象とした意識調査

### ▶ 調査方法

来館者に対する面接聞き取り調査(退館時)

### ▶ 調査対象

小学生高学年以上(10歳以上)の男女

### ▶ 調査期間

2013年10月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日) (計4日間)

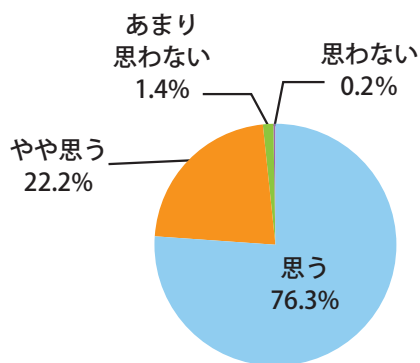
### ▶ 回収数(有効回答)

510票

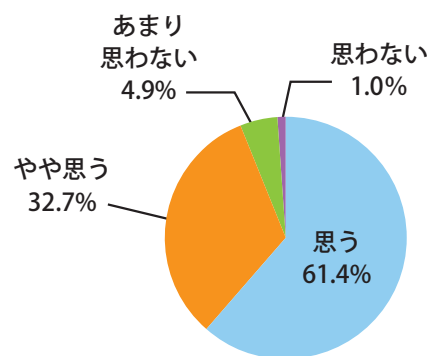
【年代】10代：108人、20代：135人、30代：105人、40代：124人、50代：24人、60代以上：14人

### ▶ 調査結果(抜粋)

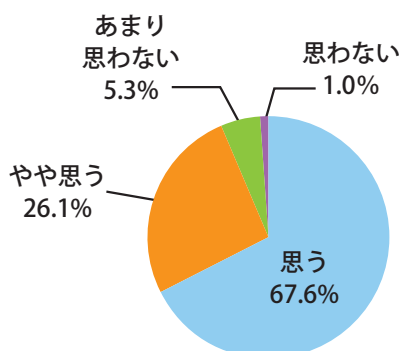
Q. [総合評価] 展示やプログラムは(全体として)良い



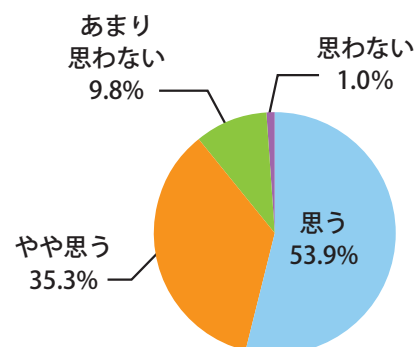
Q. [紹介意向] 展示やプログラムを人にすすめたい



Q. [リピート意向] 展示やプログラムにまた参加したい



Q. [科学への興味喚起] 展示やプログラムにより、科学への興味が高まった



## 事業評価

未来館の運営や各種活動に関する目標と年度計画は、独立行政法人科学技術振興機構の中期計画に基づいて策定しています。年度計画の達成状況は、「運営評価委員会」が評価をし、同時に改善提案を審議します。その改善提案は、未来館の事業運営に反映させます。また、評価結果は「総合監修委員会」にも報告します。「総合監修委員会」では、今後の展示や活動の計画、運営方針などについて審議・監修が行われます。どちらの委員会も以下に示すように外部の有識者で構成されています。

### ▶ 運営評価委員会

2013年度の活動内容・実績について審議が行われ、総合評価「A」（計画通り履行している。加えて新たな取組に着手しており次年度における成果が期待される）が得られました。

開催日：2014年2月26日(水)

場 所：2階 VIPルーム

委 員（所属・役職は当時）：

委 員 長 赤堀 侃司（白鷗大学 教育学部長）

委 員 大月ヒロ子（有限会社アイデア 代表取締役）

染川 香澄（ハンズ・オン プランニング 代表）

中瀬 勲（兵庫県立人と自然の博物館 館長）

本吉 洋一（国立極地研究所 副所長）

森 俊哉（有限責任あずさ監査法人 代表社員）

渡部 潤一（国立天文台 副台長）

### ▶ 総合監修委員会

2013年度は2回開催され、第1回においては戦略と組織改編について審議が行われました。第2回においては今後の展示開発や科学コミュニケーション活動の計画などについて審議が行われ、運営評価委員会の評価結果が了承されました。

開催日：[第1回] 2013年11月5日(火)、[第2回] 2014年3月7日(金)

場 所：2階 VIPルーム

委 員（所属・役職は当時）：

委 員 長 金澤 一郎（国際医療福祉大学 大学院長）

委 員 青野 由利（毎日新聞 論説委員）

海野 正（日本公認会計士協会 専務理事）

太田 英昭（株式会社フジ・メディア・ホールディングス 代表取締役社長）

北澤 宏一（東京都市大学 学長）

榊 裕之（豊田工業大学 学長）

佐々木かをり（株式会社イー・ウーマン 代表取締役社長）

高柳 雄一（多摩六都科学館 館長）

立花 隆（ジャーナリスト）

中村 桂子（JT生命誌研究館 館長）

早川 茂（トヨタ自動車株式会社 専務役員）

林 良博（国立科学博物館 館長）

（敬称略）